

事業所名

川口市心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

支援方針		個々の特性に合った支援を受け、安心できる環境の中でのびのびと自分を表現し、生きる力を育てましょう。					
営業時間		8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無	あり
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムを把握をし、整える手立てを考える。健康に過ごせるための手立てとして手洗い、歯磨き、定期健康診断、身体計測などを行い、健康に対する気づきを促す。</li> <li>食事：楽しく食べられる雰囲気を作る。口腔内の機能や感覚に配慮したアプローチを行う。食育としてクッキングや給食室見学等を行う。</li> <li>排泄：心地よく排泄できるような雰囲気作りを行い、定時排泄を促す中で排泄することへの意識づけを行う。また自立的に行えるように支援する。</li> <li>着脱：衣服などの着脱を個々に合わせて自立的に行えるように、スモールステップで誘いかける。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全身での感覚遊び、運動遊びを行い、目的のある動きの獲得から巧緻性のある遊びができるように誘いかける。</li> <li>・身体の動かした方に気づき、ボディイメージを高める。</li> <li>・姿勢、運動機能の向上。</li> <li>・体力をつける。</li> <li>・個々の特性にあった感覚を満たし、偏りに対しての配慮を行う。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎生活の中で適応しやすい行動や達成感を得られる行動を育てていく。</li> <li>・個々の認知の状態にあった誘い方（言葉かけ、設定あそび場面）を行い、外界の情報を取り込みやすいよう支援し、達成感を味わいながら、自立的な行動につなげていく。</li> <li>・認知の特性から不適応な行動がある場合、環境調整を行いながら、適応しやすい行動に変えていく。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの好む遊びを大人も一緒に行うことで共感する気持ちを育て、自分の気持ちを出しやすくしていく。</li> <li>・大人への要求行動（絵カード、ジェスチャー、発声、発語）を増やしていく。</li> <li>・物や行動と言葉の一致を促す。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎愛着の形成</li> <li>・大人への信頼感を持つことができるように、こどもの気持ちを尊重する。</li> <li>・切り替え場面や不安になる場面において、こども自身が気持ちを出し、コントロールできる方法を一緒に考える。</li> <li>◎集団での生活や遊びを通して、他児への興味ややりとりの経験ができるよう支援する。</li> </ul>					
家族支援		子育てに関する困りごとに対する相談援助。 こどもの成長、発達の共感・確認。 家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。 こどもを取り巻く家族に関する相談。			移行支援		保護者の希望に応じて、幼稚園、保育所等の地域への移行に向けた取り組みや、ライフステージの切り替えを見据えた取り組み。 ・保護者の希望に応じて、移行先への情報共有（保育園、幼稚園、小学校、放課後等デイサービス） ・情報提供のみを希望する方向けのグループ
地域支援・地域連携		こどもに関わる地域の関係者や関係機関との連携。 ・保育所等訪問支援 ・併用先訪問（保育所、幼稚園、児童発達支援事業所） ・交流保育 ・関係機関との連携 ・公開支援 ・地域訪問相談、個別相談			職員の質の向上		・外部研修 ・ケース会議 ・保育士会研修 ・園内研修（虐待防止、感染症、不審者対応） ・自己評価
主な行事等		・入園、進級式 ・家族参観 ・プール遊び（夏季期間中） ・運動会 ・バス遠足 ・お楽しみ会 ・年長お別れ遠足 ・修了式 ・誕生会（季節の行事集会を含む） ・定期健康診断（内科・歯科） ・避難訓練					